

環境教育関係事業について

(平成 26 年度実施結果及び平成 27 年度の予定)

環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

- (1) 人材の育成
- (2) 情報の共有・活用
- (3) プログラムの作成
- (4) 機会づくり・場づくり

(1) 人材の育成

◆教員に向けた研修

平成 26 年度は環境プラザ主催で、教員のスキルアップのための研修を、初めて今年度実施しました。外部講師を招き、身近な自然を通じた体験学習の作り方学ぶ内容で、定員を上回る参加者がありました。この研修会をきっかけに、参加者とのネットワークづくりも進めています。

また、継続事業として、教育委員会と連携し、教育センターにおいて環境教育に関する研修を実施しています。学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的にした研修の中で、環境教育に関する講座を設け、学校における環境教育の実践を推進しています。

◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣

学校の「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する環境教育リーダー制度と、環境に関する専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する環境保全アドバイザー制度を実施しています。

今後の予定

平成 27 年度は、環境教育リーダーを増員し、新任リーダーの研修を実施する予定です。

【派遣実績（件数） ※（ ）内は参加人数】

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
環境教育リーダー <登録者数 28 人>	55 件 (2,415 人)	74 件 (3,717 人)	101 件 (5,620 人)	142 件 (8,475 人)	128 件 ※ (6,303 人)
環境保全アドバイザー <登録者数 14 人>	37 件 (2,087 人)	33 件 (2,498 人)	37 件 (2,332 人)	45 件 (2,748 人)	37 件 ※ (2,107 人)

※ 平成 27 年 2 月末現在

◆札幌市環境プラザにおけるリーダー育成

① こどもエコクラブ

平成 22 年度から、環境プラザが「こどもエコクラブ」を設立して活動を行なっています。子どもたちが、さまざまな場においてリーダーとなって活躍することを目指しています。今

年度は9月までに全10回の活動を終えており、参加した子どもたちに「ジュニアエコリーダー」の認定証を交付しました。また、活動終了後も10月、12月に札幌市内の他のこどもエコクラブとの交流会を実施し、交流を深めました。

今後の予定

平成27年度は、こどもエコクラブ卒業生に、環境関連イベントのスタッフとしてお手伝いしてもらおうことを考えています。

② 市民講座の開催

市民向けに様々な環境分野に関する講座、研修を行うことにより、環境保全の意識の醸成を図り、環境活動を始めようとする方のきっかけづくりや、リーダーとして活動を行う方を育成することを目指します。

今年度の主なものとしては、「食」をテーマに「森とつながる命の食卓」を開催し、異なる分野の講師3人による、エゾシカを活用した地域づくりの講義やエゾシカ肉の試食会を行い、エゾシカと環境との関わりなどを学んでいただいたほか、「水素がカエル未来の社会」では、燃料電池の仕組みに関する講演や燃料電池実験器等の体験などを通じて、クリーンエネルギーとして注目されている燃料電池の理解を深めていただきました。

今後も、市民を対象とした環境に関する幅広い分野の講座を引き続き行うことで、人材の育成を行います。

③ 大学生のサポーター制度

平成27年度から大学生のサポーター制度をつくり、環境をテーマに大学生と小学生の活動をつなぎます。

◆環境に関する学習活動研究実践校事業（平成26年度は研究実践校10校）

平成26年度は、環境をテーマにした先進的な取組（例：地域・外部人材を活用した学習活動、太陽光パネルを活用した学習活動等）について、各研究実践校が実践研究を行いました。

◆エネルギーに関する環境教育の推進

学校においてエネルギーについて体感し、学び考えることができる見える化設備の整備は昨年度で終了しましたが、設備のない学校にも同様の学習を拡大するため、小学生向けに見える化設備の模擬体験が行える環境教育教材（DVD）を作成し、全小学校に配付しました。

今年度は、この教材の活用状況や使用感に係るアンケート調査結果ほか、本委員会での意見に基づき、昨年度の教材と同様の内容で、子ども一人ひとりが個別に操作できるよう、教材の内容を環境プラザのホームページ上で公開します。これにより、インターネットを通して、子どもから大人までが同教材を個別に操作することが可能になります。

今後の予定

平成27年度に向けては、今年度作成するホームページのPRなどを検討しています。

※ 見える化設備を整備した3校

平成23年度整備校：札幌市立百合が原小学校（北区）

平成24年度整備校：札幌市立平岸中学校（豊平区）

平成25年度整備校：札幌市立南郷小学校（白石区）

(2) 情報の共有・活用

◆環境プラザホームページ

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。

【ホームページアクセス件数】

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
環境プラザHP	153,785	116,185	128,034	164,365	155,259 ※
キッズページ	2,017	2,053	6,303	12,733	12,201 ※

※ 平成 27 年 2 月末現在

◆かんきょう元気新聞

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成 26 年度は、9 月に「雨」をテーマとして第 14 号を発行しました。札幌における雨の降り方の変化、ゲリラ豪雨などの異常気象は温暖化が原因の 1 つであることを盛り込み、最終的に温暖化を進めないために省エネ・節電を提起する内容としました。

また 2 月に発行した「かんきょう元気新聞」第 15 号では「バイオミメティクス」をテーマとし、自然や生物への関心を高め、地球環境を大切にする気持ちを喚起する内容としました。この 15 号発行に合わせて、北海道大学総合博物館の協力を得て、バイオミメティクスで製品化されたもの、その基となったもの、説明のパネルなどを環境プラザで展示し、紙面からさらに深く学んでもらう場を用意しました（今回のパネル展を契機に環境プラザにおいて、常設のかんきょう元気新聞コーナーをつくりました）。

※ 配付対象：札幌市立小学校・中学校の全クラス

◆環境教育関連施設連携事業の実施

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクトにおいて、情報を共有・活用するとともに、より効果的な環境教育を行うため、環境プラザを中心として施設間の連携を進めています。

今年度も、例年の事業である「親子でまるごとサケ体験」を札幌市豊平川サケ科学館と連携し、実施しました。

また、昨年度から進めている青少年科学館科学館との連携では、4・5 月に科学館リニューアルオープンに係る広報活動をエルプラザ内で実施したほか、環境プラザのホームページ上でも紹介しました。その後もお互いに事業のチラシの配架し合い、引き続き双方で PR を行っています。

そのほか、水道記念館、下水道科学館等の環境イベントにおいて、環境プラザの職員が出向いて体験学習を行いました。

環境プラザで平成 22 年以降作成している「みんなでおでかけポケットブック」（市内環境関連 12 施設ガイド）を更新し、増刷、配付しています。今年度は本委員会の意見に基づき、掲載内容を見直し、各施設の冬の取組などを掲載しました。

(3) プログラムの作成

◆環境副教材・教師用手引書

副教材のアンケート結果を参考に、子どもが読みやすく、教科に位置付けた内容を充実させ、札幌の特性を打ち出すなど全体的に見直しを行い、平成 27 年度配付版副教材を作成しました。

具体的には、1・2 年生用では動物園や雪まつりのページを増やしました。3・4 年生用では、今まで不足していた 3 年生の理科のページを 8 ページ増やしました。5・6 年生用では、生物多様性のページと雪のページを増やしています。そのほか、各学年共通で、教師用手引きにしか載っていなかった道徳のページを追加し、エコライフレポートをはるページをつくりしました。

◆環境プラザにおける学習プログラム

環境プラザの展示物を利用した見学者向け環境教育プログラムや、出前事業等の体験型学習プログラムを見直し、充実を図り、学校等で行う出前事業に活用できるよう検討を進めています。

また、オリジナルプログラムの一層の充実を図るほか、一般の方が手軽にプログラムを実践できるよう支援します。

(4) 機会づくり・場づくり

◆校外学習用バス貸出

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

平成 26 年度は、バス事業繁忙期のバスの手配が困難となり、貸出期間を 11 月 1 日～12 月 13 日に変更しました。

今後の予定

来年度もバス事業繁忙期におけるバスの空き状況は変わらない見込みであり、バス確保が困難であるため、今年度同様の貸出期間を予定しています。

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
応募校数	77 校	71 校	107 校	129 校	114 校	103 校	115 校
利用校数	54 校	69 校	88 校	70 校	61 校	46 校	34 校
バス利用台数	115 台	152 台	184 台	153 台	133 台	94 台	76 台

※ 校数・バス利用台数はのべ数 平成 19 年度事業開始。平成 21 年度から中学校も対象。

< 主な見学先 (平成 26 年度) >

見学先	見学校数 (のべ)
水道記念館 (藻岩浄水場含む)	13
清掃工場 (白石、駒岡、発寒)	13
豊平川さけ科学館	7
中沼リサイクル団地	6
サッポロピリカコタン	4
円山動物園	3
モエレ沼公園	3
水再生プラザ (創成川、手稲、厚別)	3
豊平峡ダム	1

◆環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成17年5月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成26年度は、51の小中学校に、電力量表示器（ワットチェッカー）や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。（現在の協力企業は9社）

◆環境プラザにおける学習支援等

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の学習の支援を行いました。

出前事業では、環境プラザの作成したプログラムを学校の授業で初めて実施しました。幌北小学校の総合的学習の時間に、学校のビオトープを利用したプログラムを実施し、植物、生き物に興味を持ってもらい、自然の大切さや守るための意識を啓発することができました。今後、他分野も含めたプログラムの充実等を図り、他校へも広げていくことを目指します。

また、例年同様、さまざまな環境イベントにおいて、体験学習を行いました（水道フェスタ2014、下水道科学館フェスタ2014、東区児童会館まつり、さっぽろ雪まつり等）。

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を実施しています。

◆かんきょうみらいカップ2014

サッカー・卓球といったスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ2014」を開催しました。

① サッカー部門

7月12日（土）札幌サッカーアミューズメントパークで開催し、188人（27チーム）が参加しました。サッカーや環境クイズ、リレーゲームのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

また、当日高得点を獲得した上位8チームが、11月9日の「コンサドーレ札幌 対カマタマーレ讃岐」（札幌ドーム）のカーテンレザーマッチ（前座試合）に出場しました。

② 卓球部門

4月12日のホープス以下の部、7月25・26日のカデットの部で、出場者（4月、7月併せて約900人参加）にサッカー部門同様「環境体験・活動カード」を提出してもらい、優秀な取組については表彰を行いました。

◆さっぽろこども環境コンテスト

小中学生の環境活動を発表する「さっぽろこども環境コンテスト2014」を、12月6日（土）に開催しました。今年度は、小学生の部3校、中学生の部3校のほか、新たに設けた児童会館の部2館、特別発表として開成高等学校の生徒さんにも発表していただきました。

審査員長	北海道大学 名誉教授	太田 幸雄 氏
審査員	NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 代表	坂本 純科 氏
審査員	札幌市立開成高等学校 学校長	石黒 清裕 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	城戸 寛

[発表団体] ◎：最優秀賞受賞団体 ○：優秀賞受賞団体 ●：クリック募金特別賞

小学校の部	中学校の部	児童会館の部
○札幌市立百合が原小学校	○札幌市立宮の森中学校	○川北児童会館
◎札幌市立緑丘小学校	●札幌市立定山溪中学校	◎西区児童会館合同
●札幌市立山の手小学校	◎札幌市立米里中学校	

◆企業との連携強化

環境保全活動を行う企業と学校や環境関連市民団体、地域などとのマッチングのための準備を環境プラザと共に進めています。今年度は、企業における環境保全活動や、学校等との連携事業の実施状況などの実態について、アンケート調査を行い、環境プラザで結果をとりまとめ中です。

今後の予定

平成27年度は、このアンケート結果に基づき、企業と学校とのマッチングを進めていく予定です。

(5) その他

◆環境プラザ展示物更新

環境プラザの展示物について、身近なエネルギーの賢い使い方を学び、日常生活に生かすことができるようなものや、出前講座等で幅広く活用できるようなものを基本として、札幌市環境教育基本方針推進委員会委員の皆様を始め、市民の方々からいただいた意見、環境プラザで開催したワークショップでの意見などを参考に、展示コーナーの一部・ハウススタジオの更新を行いました。

家を模した設備を設置し、リビング、キッチン、洗面所等に区分し、各部屋のモニターに電力、水、灯油の使用量をリアルタイムに表示することができます。CO2排出量や料金も同時表示できるほか、同モニターで各部屋でのエコライフなどに関するクイズが出題され、体験的に実生活にいかす賢いエネルギーの使い方を学習することができます。

また、大型の解説用モニターでは、地球温暖化など環境に関する5つのテーマについて、学ぶことができます。

そのほか、持出し用タブレット端末を複数台用意し、ハウススタジオと同様の体験を施設外でも可能とし、出前事業に活用します。環境プラザの施設紹介のコンテンツも用意し、環境プラザへの誘導も図ります。